

岩室の ため池群

中山 潔 (大阪府立狭山池博物館学芸員)

岩室村年代記の記録

岩室村には江戸時代を通じて長く書き継がれた村の二冊の年代記(中林家本・北井家本)が残っている。このような長期の記録が200年以上にわたって書き継がれて残ること自体が大変珍しいのだが、この二冊はお互い足りない部分を何度も補いながら江戸時代を通じて書き継がれているという点でも貴重なものである。市指定の文化財となっている。

現在の池之原1〜3丁目、岩室1〜3丁目は、江戸時代には「岩室村」あるいは「池之原村」とよばれていた。本来は、隣接する泉州(和泉国)岩室村と一村で、西高野街道沿いに観音院門前の集落として発達したと伝えられ、豊臣秀吉の太閤検地で、国境が再確認されたため、河州岩室村と泉州岩室村に村切りさ



池え原集落中心・池え原神社前

れたという。違う国に所属するといっても、隣接して同じ村名であるのは紛らわしかったらしく、万治元年(1658)に「池原村」に改められたが、寛文11年(1671)には再び岩室村に戻ったと年代記は記録している。この時期は狭山藩北条家領であったので、村名の改称も藩の内部的に処理されたものである。「岩室」「池之原」の地名が重複しているのは、どちらも正規の村名として使われた歴史があるためだ。



明治仮製地図

池の名称	和暦	西暦
佃池 (現在不詳)	文明2年	1470
濁り池	明応7年	1498
北池	天正11年	1583
尻屋池	慶長6年	1601
長谷池 (永谷池)	正保2年	1645
新池 (上池)	承応元年	1652
芦池	寛文元年	1661
乙女池 (見取谷池)	貞享3年	1686

狭山池と岩室村の開発
河州岩室村の人々は、ため池を築きながら西高野街道沿いから下の平地、池え原に居を定めたと伝えている。通常、村々のため池がいつ築造されたか、特に中世の場合は記録に残っていないことは稀有である。それが、この村のため池に限っては、伝説の域は出ないにしても、記録されていること自体が貴重であるといえよう。
江戸時代以前と伝わる池は四か所、最古の佃池は不明としても、特に最大のため池「濁り池」の築造が古く、それ以後、谷ごといため池が築かれていることで、丘陵の下部、狭山池に接する地域に広がる「池之原」

大野新開の開発と「新池」の拡大

の開発が江戸時代になってからも進行していった様子がうかがえる。これには、実は「池之原」部分の特殊な開発過程が絡んでいる。この地域は、既に中世には開墾されていたと考えられているが、片桐且元が狭山池の「慶長の改修」を行った際に堤防などで使う「土取場」として石高50石余の田畑が荒廃してしまっ。そのため、岩室村領主の北条氏は錦部郡彼方村(富田林市彼方)で代替地をもらっている。このように荒れ果てた岩室村は、順次再開発を進めるといふ歴史的経過をたどり、17世紀後半には概ね再開発が終了していったようである。

しかし、再開発が進行すると用水不足が顕著になったよう。17世紀後半にため池の築造が一気に進められた。村の中のため池だけでは足りず、上流の今熊村の谷を利用して「新池(上池)」というため池が築造された。「新池」の場所は今熊村の水田であったようだが、両村とも狭山藩領であったので比較的簡単にため池に転用できたようである。この池の灌漑範囲が概ね「土取場」と一致している。

17世紀末の元禄年間に入ると広大な大野新開の開発が始まる。北は関茶屋(堺市東区)から南は大野新田(大阪狭山市)に及ぶ数十町歩の開発計画が持ち上がった。新田開発を願ったのは江戸の太田新蔵であったが、その背景には柳沢吉保や江戸の材木商富倉弥吉などの意思も働いていた。やがて富倉弥吉は東大寺大仏殿の材木を請け負って大野新開を手放すことになった。

この新田開発地は、岩室村の丘陵も含めて、「たばこ畑」として既に開発された部分を多く含んでいたため、今熊村・岩室村は狭山藩領からいきなり幕府直轄の天領に編入され、元禄11年(1698)再検地を受けた。

たばこ畑を開発していた農民の権利は認められず、それを買い取るか、小作人になるかの選択を迫られた。岩室村は銀10貫300匁余(金換算で約206両くらい)を工面して買い戻し、岩室新田とした。村の領域の分裂をさけるために、岩室村の人たちは多大な犠牲を払ったのだ。このことと直接関係するかどうか

プロフィール
中山 潔
大阪府立狭山池博物館 学芸員

大阪府立高校(富田林高校・生野高校・三国丘高校)で勤務、定年退職後現職に。府立高校勤務中に、弥生文化博物館、狭山池博物館設立準備室にも勤務。専門は文献史学。『大阪狭山市史』『藤井寺市史』『平野区史』などを執筆。



尻屋池



新池(上池)



長谷池(永谷池)



乙女池



濁り池



北池



芦池 AGUA vol.19 4